

ミラージュ・カープラザカップ第1戦 CMSC 栃木 添田正選手 シリーズ初戦を制す!



CMSC栃木 添田 正 ミラージュカープラザカップ第1戦優勝記

今年からCMSC栃木に入会させていただき、ミラージュカープラザカップシリーズに参戦することになりました。マシンはこれまで3シーズン使用してきたミラージュですが、郡司モーターサービスの方々のお力添えをいただきサスペンションやブレーキの状態も良好になり、さらにシーズン前の練習走行も例年以上に走らせていただきました。十分な手応えを感じながら万全の体制で、4月19・20日、筑波サーキットでの今季第1戦に挑むことができました。

予選は他車に引っかけたしまい目標タイムには届かなかったものの、何とか2位で終了。予選7番手タイムまでがコースレコードです。他車の熱い走りの中で私も気合いが入ります。

しかし決勝の大事なスタートでは気負い過ぎて失敗し

万全の体制で5年ぶりの優勝

てしまい2番手キープが精一杯。それからは後半勝負と頭を切り替えトップを走りました。しかし3周目、トップ松田選手にこの日のファステストラップをたたきだされてしまい、以降は徐々にトップとの差が開き始めてしまいました。中盤までその差は1秒500。ところが8周目に突然、松田選手がエンジントラブルでリタイヤしてしまい難無くトップに立つことができました。以降は後続との間隔をキープしつつタイヤをいたわり、コンスタントに1分05秒台のタイムで周回。無事トップでチェッカーを受けられました。このクラスではターボ車以来5年ぶりの優勝です。

今年マシンも体制も良いので残りのレースもチャンピオン目指して頑張りたいと思います。

久しぶりに1位の表彰台に立つ添田選手。



全日本ジムカーナ
第1戦 CIIクラス

小館 久選手 CMSC青森 今季初戦で優勝!

3月23日、千葉県「浅間台スポーツランド」を会場に'97全日本ジムカーナの今季初戦が開催されました。朝から雨が降ったり止んだりのあいにくのコンディションでしたが、C IIクラスではCMSC青森の小館久選手が、昨年第3戦以来、久々の勝利となりました。

路面の所々に水溜まりが出来た第1ヒートでは、小館選手は大きくタイムロスし、1分24秒681。しかし路面状況が幾分良くなった第2ヒートでは素晴らしい走りを見せてくれました。パイロンで設定されたコースを果敢にアタック。コーナーへの突っ込み、そしてすばやい立ち上がりからの加速と申し分の無い走り、1分04秒276のベストタイムをたたき出します。最終スタートの昨年チャンプ、高橋選手はこのタイムに届かず、小館選手が見事、勝利を手にしました。初戦を飾り幸先のよいスタートで、今季の活躍が期待できます。

今シーズン幸先の良いスタートを切った小館選手。



CMSC仙台 高橋しげる ミラージュ東北シリーズ第1戦優勝記

96年はシリーズチャンピオンにあと一歩及ばず2位でシリーズを終えました。97年に賭ける意気込みは人一倍強く、車作りにも気を配りました。昨年1年間酷使したエンジン、足廻りに細かい所まで目を通し最高の状態に仕上げ、4月26・27日の「仙台ハイランドレースウェイ」第1戦に臨みました。

予選前日の練習走行では自分のベストタイムに近いタイムが出たので、良い結果を出せる自信ができました。

予選当日、それほどプレッシャーも無く良いコンディション。タイムアタックではタイヤを大事にしながら1周目は流す感じで温めて、2周、3周でアタック。結果、ポールポジションを取ることが出来、ホッとしました。

決勝当日、天候、晴れ。気分も最高。スターティンググリッドが一番前。スタートが近づくにつれ、だんだんドキドキしてくるのがわかりました。そしてスタート。12週のレースが開始。スタートでは慎重にトップのまま1コーナーに入りました。2番手の選手の様子をミラー越しに伺いながら1周目を走りました。ところが2周目、予測していなかったア

初のポール・トゥ・ウィン

クシデントが発生。1コーナーに進入する所で「バキッ」という音がしたと思ったらシートレールがガタガタし始めました。この状態であと10周も走るとかと思うと冷や汗が出てきました。シートが取れると自分の身がとても危険なので、ピットにいる監督に助けを求めようとしたのですが、そんなことをしていたらレースが終わってしまいます。「ちくしょう、シ

ートが取れても走りきってやる」と思い、注意しながら全開で走り続けました。そして何とか無事完走。2位に5秒のタイム差をつけ1位でゴールしました。

第2戦SUGOではまた表彰台の一番高いところ、そしてシリーズチャンピオン目指し、精一杯頑張ります。

Pole to Win 完勝の高橋選手。



猛追、実って喜びの表彰台

CMSC栃木 内堀篤史 ミラージュカープサザカップ第1戦参戦記

ミラージュC A 4 Aに初めて乗る私は、これまで同じ栃木の添田選手と2台体制で練習をしてきました。何より一刻も早くレースをしたいと思いつつ迎えた4月19・20日、暑いくらいの陽気の中、私のミラージュカップ初戦は始まりました。予選は34台が一度にタイムアタックをするという状況の中、7番手。事前の練習では1分4秒台が出ていたのですが、クリアラップがとれず不本意な結果となってしまいました。

決勝はとにかく思いっきり走ろうと意気込みは十分でしたが、スタートがあまりうまくいかずポジションを維持したまま1周目は終わってしまいました。2周目から前後の車輛とバトルを繰り広げることとなりました。ラスト数周になると今年から導入されたタイヤ4本規定に泣かされながらも、ベストラップは必ず頂こうと前の車輛を追走しました。悔しいことにベストラップにはもう一歩届かなかったものの、3位でチェッカーを受けることが出来ました。地元筑波の



激しいバトルを繰り広げる内堀選手。

レースは落とせないとは思っていましたが、初戦で表彰台に立てるとはとにかく嬉しい気持ちの良いものでした。しかし、同時に予選及びレースの難しさを思い知り、沢山の

課題が見え始めたような気がしました。これからもっと良い成績をご報告できるよう今まで以上に頑張っていきたいと思えます。